## 第5次総合計画策定に関する市民討議会

# 「キラッ!とまちづくり原石発掘会議」

# - 実施報告書 -



令和元年6月 岩倉市

## 目 次

| 1 | はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・1            |
|---|------------------------------------|
| 2 | 市民討議会の概要                           |
|   | (1) 市民討議会とは・・・・・・・・・・・・・・1         |
|   | (2) 開催概要 (テーマ選定)・・・・・・・・・・・・・・・1~7 |
| 3 | 市民討議会での討議結果の概要【未来新聞】・・・・・・・・8~19   |
| 4 | まとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20         |

#### 1 はじめに

本報告書は、第5次岩倉市総合計画策定に関する市民討議会「キラッ!とまちづくりの原石発掘会議」について、討議会の概要、討議結果の概要、参加者アンケートの結果などをまとめたものです。

#### 2 市民討議会の概要

#### (1) 市民討議会とは

市民討議会は、ドイツなどで取り入れられている、市民参加の手法「プラーヌンクスツェレ(計画細胞)」をアレンジしたもので、無作為抽出で選ばれた市民の皆さんにまちづくりの課題などについて話し合っていただき、そこで出された意見や提言をまとめ、行政の施策に活かしていこうとするものです。

本市では、これまで市政に興味はあるがなかなか参加の機会の少なかった市民が参加するきっかけとなり、新しい声を施策に反映できるという効果を期待して、平成28年4月施行の「岩倉市市民参加条例」にその手法を市民参加手続きの一つとして規定しました。

#### <市民討議会の特徴>

- ① 参加者は住民基本台帳から無作為で抽出した18歳以上の市民を対象とします。
- ②参加者には積極的な参加と責任ある発言により討論していただくため謝礼を支払います。
- ③ テーマに知識のない方でも討議に参加できるよう専門家等からの情報提供を行います。
- ④ グループで討議した結果(提案)に対して全員が投票を行います。

#### (2) 開催概要

#### ① 目的

本市では、第4次岩倉市総合計画の計画期間が平成32年度で終了するため、次期計画となる第5次総合計画の策定に向けて、若者や子育て世代などを始めとする幅広い市民から多様性のある意見を把握するとともに、今後のまちづくりのための新たな人材を発掘することなどを目的として、市民討議会を実施することとしました。

#### ② テーマ

討議テーマは、第5次総合計画において重要なテーマになりえるもので、対象者(無作為 抽出市民)が参加の意向を決定する際に、わかりやすいものという観点から以下の4つをテ ーマとして、議論をスタートすることとしました。

- ○健幸長寿社会の実現
- 〇安全・安心なまちづくり
- 〇子育て・教育環境の充実
- 〇にぎわいと活力あられるまち

#### ③ 開催日程等

今回のテーマを考えたうえで、2日間程度の討議時間が必要であること、より具体的な討議、提案とするため、1日目と2日目の間に一定程度の間隔を空ける必要があると判断しました。

<日時>

1日目 平成31年2月16日(土) 10時~16時

2日目 平成31年3月16日(土) 10時~16時

<場所>

岩倉市民プラザ 多目的ホール

#### 4) 参加者

定員を60人とし、住民基本台帳から無作為で抽出した18歳以上の市民4,000人を参加対象者として、参加案内を送付し、そのうち83人の方が参加意向表明書を提出されました。

参加意向者が定員を超えたため、参加者の年齢構成を考慮し抽選を行い、参加者を決定し、 当落の決定の通知を行いました。

その後、仕事や体調不良などの理由による辞退などがあり、結果として1日目の参加者は52人、2日目は47人でした。

また、総合計画策定に向けて設置した若手の市職員で構成するプロジェクトチーム(8人) も参加しました。

#### ⑤ 謝礼

謝礼は、2日間の参加を条件に5.000円分のQUOカードとしました。

#### ⑥ 討議会の企画運営

今回の討議会は、第5次岩倉市総合計画策定の一環として実施しており、四日市大学 小林 副学長、策定業務の委託業者である一般社団法人 地域問題研究所、まち楽房(有) 加藤氏 の協力を得て、プログラムの検討や当日の運営を行いました。

#### ⑦ 具体的な討議内容等

<当日配付プログラム:1日目(2月16日)>



第5次総合計画策定に関する市民討議会

#### キラッ!と まちづくりの原石発掘会議

本日のおしながき(おもなプログラム)

平成31年2月16日(土) 10:00~16:00 (予定) 市民プラザ 多目的ホール

| 10:00~           | 1. 開会 5分                                                                                                                               |
|------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 10:05~           | 2. ガイダンス 5分                                                                                                                            |
| 10:10~           | 3. ミニレクチャー①「市民討議会の概要と参加の心得」25分                                                                                                         |
| 10:35~           | 4. アイスプレイク (ときほぐし) 40分<br>①グループ内自己紹介~②市民アンケートクイズ                                                                                       |
| 11:15~           | 5. GW「現状・課題について勉強し、共有しよう!」45分<br>①テーマごとに分かれ、現状・課題の学習(説明)~②認識の共有                                                                        |
|                  |                                                                                                                                        |
| 12:00~           | 昼食・休憩(45 分)                                                                                                                            |
|                  | 昼食・休憩(45 分)<br>6. ミニレクチャー②「10 年後のまちづくりを考える視点」15 分                                                                                      |
| 12:45~           |                                                                                                                                        |
| 12:45~           | 6. ミニレクチャー②「10 年後のまちづくりを考える視点」15 分                                                                                                     |
| 12:45~<br>13:00~ | <ul> <li>6. ミニレクチャー②「10 年後のまちづくりを考える視点」15分</li> <li>7. GW「10 年後の暮らしの重点課題を検討しよう!」60分</li> <li>8. 全体~GW「"問い"を考え、チームをつくろう!」90分</li> </ul> |

#### ■よりよい話し合いのために~3つの約束

- 最も大切なのは、「傾聴」。人の話をしっかり聞きましょう。
- ② 話は、「手短か」「簡潔」に。できるだけ「記録」を残しましょう。
- ③ 人の意見を「否定しない」こと。「要求型」ではなく、「提案型」で。

#### <1日月>

はじめに、四日市大学の小林 慶太郎副学長から「市民討議会の概要と参加の心得」をテーマに、市民討議会についての説明や参加者がどんなことに心掛ければ良いか、などわかりやすく講演をいただきました。

その後、参加者の緊張を解き、リラックスして活発な討議となるようアイスブレイクを行いました。

#### 【アイスブレイク内容】

- ①グループ内で自己紹介
- ②市民意識調査結果概要をグループ対抗のクイズ形式で学習

アイスブレイク後は、グループに分かれてテーマごとの現状と課題について学習し、市 民感覚で実感している近年の成果や課題についてグループ内で意見交換・問題意識の共有 を行いました。現状と課題についての説明は、市のプロジェクトチームの若手職員が行い ました。



〈四日市大学 小林副学長〉



<テーマ別学習の様子>

午後は、四日市大学の小林副学長から「10年後の岩倉のまちづくりを考える視点」をテーマに、岩倉の暮らしをとりまく社会経済動向やライフスタイルの変化、これからのまちづくりにおける地域・住民の役割などについて講演をいただいた後、グループに分かれて10年後の岩倉市の暮らしについて「期待・長所」と「不安・短所」の両面から重点課題を検討しました。

その後、各自、他の人も巻き込んで一緒に考えたい具体的な「問い(≒目標、ゴール)」(≠ 課題解決の方策やアイデア)を考え、全体の中で発表し、テーマの枠を超えて新たにチーム を作りました。

新しいチーム内で自己紹介と「問い」を共有し、共通点や相違点を確認しながら、まちづくりプロジェクト企画の方向性をまとめました。



くグループワークの様子>



<各自の「問い」発表の様子>

## 【チームの問い(まちづくりプロジェクト企画の方向性)】

| テーマ:「健幸(康)長寿社会の実現」のためのまちづくり |                              |  |
|-----------------------------|------------------------------|--|
| チーム名                        | 問い                           |  |
| パワフルセブン                     | 高齢者が、趣味や特技を生かして、活躍できる場を作るには? |  |
| チーム健幸への道                    | 40才以上の市民全員に健康診断を受けてもらうには?    |  |

| テーマ:「安全・安心なまち」にするためのまちづくり |                              |
|---------------------------|------------------------------|
| チーム名 問い                   |                              |
| お助け隊                      | 大災害時、自宅や職場の近くで避難するときに手助けを必要と |
|                           | する高齢者・障害者がどれくらいいるかを知り、速やかに避難 |
|                           | させるには?                       |
| ヒロシ&women's               | 安心・安全に暮らせる街〜ソフト面、ハード面の観点から〜  |

| テーマ:「子育て・教育環境の充実」のためのまちづくり |                        |  |
|----------------------------|------------------------|--|
| チーム名                       | 問い                     |  |
| チーム楽学                      | 誰でも楽しく学童に行くには?         |  |
| はじめの一歩                     | やりたい人⇔やってもらいたい人 つなぐには? |  |

| テーマ:「にぎわいと活力あふれるまち」にするためのまちづくり |                              |  |
|--------------------------------|------------------------------|--|
| チーム名                           | 問い                           |  |
| 岩倉リノベーション5                     | 古い物を活かして新しい価値を見い出すためには?      |  |
| よくばりマルシェ探検隊!                   | 岩倉の隅々に10ヶ所の道の駅&行楽農園パークを作るには? |  |
| い~わくんとゆかいな仲間たち                 | そーだ!岩倉にいこう!一魅力ある街づくりー        |  |
| チーム五条川                         | 五条川を利用した四季のイベントのPRは?         |  |



<新チームでのグループワークの様子>



<新チームの問い発表の様子>

<当日配付プログラム:2日目(3月16日)>



第5次総合計画策定に関する市民討議会

#### キラッ!と まちづくりの原石発掘会議 ②

本日のおしながき(おもなプログラム)

平成 31 年 3 月 16 日 (土) 10:00~16:00 (予定) 市民プラザ 多目的ホール

| 10:00~ | 1. 開会 5分                                               |
|--------|--------------------------------------------------------|
| 10:05~ | 2. ガイダンス 5分                                            |
| 10:10~ | 3. ミニレクチャー①「アイデア(プロジェクト案)を持ち寄り、<br>発散させ、収束させるコツと心得」10分 |
| 10:20~ | 4. アイスプレイク(ときほぐし) 5分                                   |
| 10:25~ | 5. GW①「企画シートのもちより&プロジェクトの絞り込み」65分                      |
| 11:30~ | 6. GW2「プロジェクトを企画しよう!」30分                               |
| 12:00~ | 昼食・休憩(45 分)                                            |
| 12:45~ | 7. 午後のガイダンス 15 <del>分</del>                            |
| 13:00~ | 8. GW②「プロジェクトを企画しよう!」の続き 30分                           |
| 13:30~ | 9. GW③「未来新聞に仕立て上げよう!」60分                               |
| 14:30~ | 10. 成果発表会 15分                                          |
| 14:45~ | 11. 相互講評会&チームの振り返りタイム 25 <del>分</del>                  |
| 15:10~ | 12. 実現に向けた自己宣言「やる気のサクラサク桜の木」30分                        |
| 15:40~ | 13. まとめの講評 10分                                         |
| 15:50~ | 14. 事務連絡&閉会 10分                                        |

#### ■よりよい話し合いのために~3つの約束

- 最も大切なのは、「傾聴」。人の話をしっかり聞きましょう。
- ② 話は、「手短か」「簡潔」に。できるだけ「記録」を残しましょう。
- ③ 人の意見を「否定しない」こと。「要求型」ではなく、「提案型」で。

#### <2日月>

はじめに、四日市大学の小林副学長から「アイデア(プロジェクト案)を持ち寄り、発散させ、収束させるコツと心得」をテーマに講演いただきました。皆が持ち寄ったアイデアを合意・意思決定して絞り込み、一つのプロジェクト提案に磨き上げていくことについて、単なる小ネタの寄せ集めにせずに、キラッと光るプロジェクトアイデアにしていく必要性やコッをアドバイスしていただきました。

チームごとに各自で考えてきたアイデアを共有し、チームで深め、絞り込み、検討のもとになったテーマから更に発展させてプロジェクトを企画し、プロジェクトの成果を未来新聞としてまとめました。市の若手職員プロジェクトチームも参加し、最終的に12の個性豊かな未来新聞が出来上がりました。

成果発表会として各チームが発表をし、相互講評会として他チームの成果品に付箋紙を用いてコメントを残すとともに、他チームの成果品や自分のチームの成果品に残されたコメントなどを参考に自分のチームの成果やプロセスなどの振り返りを行いました。



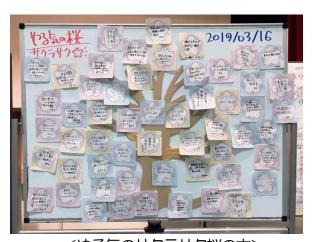
<成果発表会の様子>



<相互講評会の様子>

また、今後、自らできそうな「まちづくり宣言!こんなことできます・やります」をカードに記入し、「やる気のサクラサク桜の木」を作成しました。

最後に、四日市大学の小林副学長から講評をいただきました。



<やる気のサクラサク桜の木>

#### 3 市民討議会での討議結果の概要【未来新聞】

#### 1.「健幸(康)長寿社会の実現」のためのまちづくり活動提案

| チーム名    | パワフルセブン                              |
|---------|--------------------------------------|
| チームの問い  | 高齢者が、趣味や特技を生かして、活躍できる場を作るには?         |
| 未来新聞名   | Tsunagari Times                      |
| タイトル    | ふれあい子どもまつりツアー 作って食べて遊んでおどろう!!        |
| プロジェクトの | 生涯現役の元気シニアによる「一年を通じた子どものためのイベント」     |
| 目的・概要   | ●高齢者(シニア世代)がいつまでも元気で生きがいと役立ち感を持って高齢  |
|         | 期を過ごせるようにするため、これまで培ってきた趣味や特技を活かして、子  |
|         | どもたちの遊びを通した学びのプログラムを企画・実施するプロジェクトです。 |
|         | また、シニア層と子どもの世代間交流も目的の一つです。           |
|         | ●具体的には、おもちゃ病院の開設、竹とんぼ・凧づくり、メンコやこま回し  |
|         | といった昔遊び、五平餅づくり、ダンスなどの子ども向けのイベントプログラ  |
|         | ムを市内各所で年間を通じて、企業の協賛を得ながら実施していこというもの  |
|         | です。                                  |
| 未来新聞    |                                      |
|         |                                      |



| チーム名    | チーム健幸への道                             |
|---------|--------------------------------------|
| チームの問い  | 40才以上の市民全員に健康診断を受けてもらうには?            |
| 未来新聞名   | 健診間                                  |
| タイトル    | 市民―丸となって「チーム健幸への道」歴史的大快挙!!           |
|         | 愛知県ワースト1からの劇的大逆転!!                   |
| プロジェクトの | 健康診査の受診率向上で「健康幸せのまち」                 |
| 目的・概要   | ●働き盛りの時期からの健康管理が重要であるとの認識をから、健康診査の受  |
|         | 診率を向上することによって、市民の健康で幸せな暮らしを実現していくこと  |
|         | を目的としたプロジェクトです。                      |
|         | ●保健センターと医師会、教育委員会などが連携して、乳幼児から義務教育に  |
|         | かけて健康教育を積極的に行ったり、「健康ポイント制度」の普及、「人間ドッ |
|         | グの無償化」などをきっかけによって受診率を向上していこうというものです。 |



## 2. 「安全・安心なまち」にするためのまちづくり活動提案

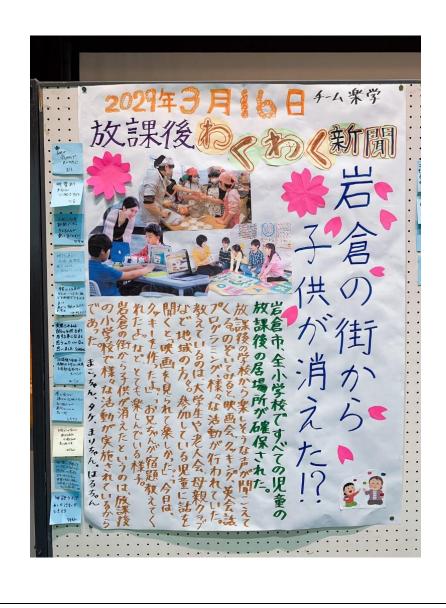
| チーム名    | お助け隊                                                                                          |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| チームの問い  | 大災害時、自宅や職場の近くで避難するときに手助けを必要とする高齢者・障                                                           |
|         | 害者がどれくらいいるかを知り、速やかに避難させるには?                                                                   |
| 未来新聞名   | The OTASUKE Times                                                                             |
| タイトル    | 岩倉市で最大震度7の地震発生 10年間の避難準備活動が奏功                                                                 |
|         | 市と市民が連携 高齢者も障がい者も全員無事                                                                         |
| プロジェクトの | 大地震に備えた「避難訓練の実施」と「避難誘導体制づくり」                                                                  |
| 目的・概要   | ●南海トラフ地震の発生が懸念される中、大規模災害が発生したとしても避難                                                           |
|         | 行動において支援が必要な高齢者や障がい者など避難行動要支援者の全てを確                                                           |
|         | 実に避難させて、災害から命を守ることができるようにするためのプロジェク                                                           |
|         | トです。                                                                                          |
|         | ●昼間だけでなく夜間の避難訓練の実施、誰がどの避難行動要支援者を支援す                                                           |
|         | るのかを明記した「避難カード」の作成、企業や学校と連携したサポーターバ                                                           |
|         | ンク設置などにより組んでいこうというものです。また、要支援者マップを作                                                           |
|         | 成するとともに、要支援者の家に旗やベルを設置しようという取組です。                                                             |
| 未来新聞    |                                                                                               |
|         |                                                                                               |
|         | 2029年3月6日<br>(1)                                                                              |
|         | (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)                                                       |
|         | 用語の<br>・                                                                                      |
|         | 一大規模災害時の全住民の確<br>大人規模災害時の全住民の確<br>一大人規模災害時の全住民の確<br>一大人の大人の大人の大人の大人の大人の大人の大人の大人の大人の大人の大人の大人の大 |
|         | では、                                                       |

| チーム名    | ヒロシ&women's                         |
|---------|-------------------------------------|
| チームの問い  | 安心・安全に暮らせる街〜ソフト面、ハード面の観点から〜         |
| 未来新聞名   | 岩倉交流所聞春号                            |
| タイトル    | お茶会交流広場                             |
| プロジェクトの | 気軽に集い、楽しく学ぶ「防犯・交通安全のための交流会」         |
| 目的・概要   | ●犯罪や交通事故から市民を守るため、気軽に楽しく参加できるお茶会を通じ |
|         | た交流会野開催を通じて、防犯や交通について共に学び、防犯意識や交通安全 |
|         | 意識を高めてくことを目的としたプロジェクトです。            |
|         | ●児童館、公民館等身近な施設を拠点に、関係機関と連携して防犯ミニ教室や |
|         | 出前講座を兼ねたお茶会を開催しようというものです。           |



## 3. 「子育て・教育環境の充実」のためのまちづくり活動提案

| チーム名    | チーム楽学                               |
|---------|-------------------------------------|
| チームの問い  | 誰でも楽しく学童に行くには?                      |
| 未来新聞名   | 放課後わくわく新聞                           |
| タイトル    | 岩倉のまちから子どもが消えた!?                    |
| プロジェクトの | 誰もが放課後に行きたくなる「放課後わくわく居場所づくりプロジェクト」  |
| 目的・概要   | ●子どもたちが安心して楽しく放課後を過ごせる居場所を岩倉市の全小学校で |
|         | 確保していくことを目的としたプロジェクトです。             |
|         | ●小学校の教室などを利活用して、大学生や老人クラブ、母親クラブなどの地 |
|         | 域の人が連携して、映画会、クッキング、英会話、プログラミングなど、子ど |
|         | もたちの誰もが行きたくなるような楽しい活動を放課後に実施しようというも |
|         | のです。                                |
| +++     |                                     |

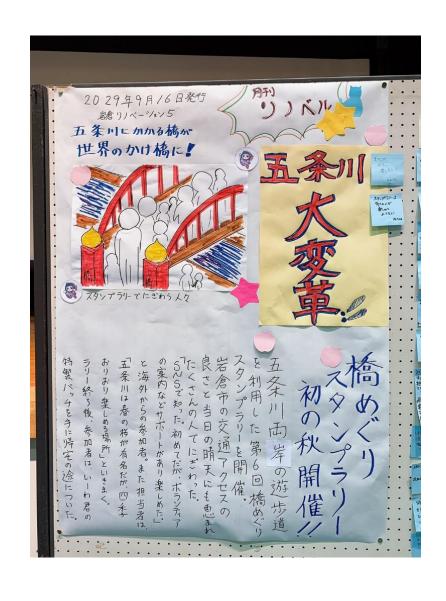


| チーム名    | はじめの一歩                               |
|---------|--------------------------------------|
| チームの問い  | やりたい人⇔やってもらいたい人 つなぐには?               |
| 未来新聞名   | WAKURA C・S(コミュニティ・スクール) TIMES        |
| タイトル    | 大成功 5周年祭 大豊作でおなかいっぱい!                |
| プロジェクトの | 地域ぐるみで子どもの豊かな成長を支える「コミュニティ・スクール活動」   |
| 目的・概要   | ●地域や保護者、学校地域の皆さんがともに知恵を出し合い、地域ぐるみで子  |
|         | どもたちの豊かで健やかな学びと育ち(成長)を応援する「地域とともにある  |
|         | 学校づくり(コミュニティ・スクール)」のプロジェクトです。        |
|         | ●コミュニティ・スクール活動として農業体験(芋ほり)やIT授業、餅つき大 |
|         | 会、音楽会などの実施を通じて、子どもから大人、お年寄りまで多世代の人が  |
|         | 参加、交流し、共に学んでいく取組を行っていこうというものです。      |



#### 4. 「にぎわいと活力あぶれるまち」にするためのまちづくり活動提案

| チーム名    | 岩倉リノベーション5                          |
|---------|-------------------------------------|
| チームの問い  | 古い物を活かして新しい価値を見い出すためには?             |
| 未来新聞名   | 月刊リノベル                              |
| タイトル    | 五条川大改革!!                            |
| プロジェクトの | 五条川にかかる橋の魅力を再発見するスタンプラリー            |
| 目的・概要   | ●岩倉のまちに残る古き良き物(建物や構造物)の魅力を再発見し、新しい価 |
|         | 値づけをすることを意図しながら、にぎわいと活力のあるまちを創造すること |
|         | を目的としたプロジェクトです。                     |
|         | ●このため、岩倉市の最大のシンボルである五条川に数多くかかっている個性 |
|         | あるデザインの橋の魅力・価値を再発見するため、これらを巡るスタンプラリ |
|         | ーを開催していこうというものです。                   |
| +++     |                                     |



| チーム名    | よくばりマルシェ探検隊!                         |
|---------|--------------------------------------|
| チームの問い  | 岩倉の隅々に10ヶ所の道の駅&行楽農園パークを作るには?         |
| 未来新聞名   | よくばりニュース号外                           |
| タイトル    | 岩倉まるごとフェス                            |
| プロジェクトの | 食・農をテーマとしたいわくら丸ごとフェスティバル             |
| 目的・概要   | ●田園環境に囲まれたコンパクトなまちという岩倉市の特性を活かし、食や農  |
|         | をテーマとした様々な体験ができ、新鮮で安全農作物を食せるようなまちづく  |
|         | りを通じて、にぎわいと交流のあるまちにしていくことを目的としたプロジェ  |
|         | クトです。                                |
|         | ●このため、様々な農業体験ができる「行楽農園パーク(手ぶらで楽しめる市  |
|         | 民農園)」を市内のあちらこちらに開設するとともに、そこで採れた旬な農作物 |
|         | や旬な農作物を材料とした食品などを直販するマルシェをまちのあちらこちら  |
|         | で開設するイベントを全市的に開催していこうというものです。また、定期的  |
|         | に農の学校、食の学校を開催していこうというものです。           |
| 未来新聞    | は、                                   |



| チーム名    | い~わくんとゆかいな仲間たち                       |
|---------|--------------------------------------|
| チームの問い  | そーだ!岩倉にいこう!一魅力ある街づくりー                |
| 未来新聞名   | い~わくん便り                              |
| タイトル    | WAKURA二大イベント大盛況!                     |
|         | 運動と音楽のパワーはすごかった!市民―丸となって町おこし!        |
| プロジェクトの | マラソンと音楽の祭典「岩倉国際チャリティーフェス」            |
| 目的・概要   | ●「音楽のあるまち」や「歩いて、走って気持ちの良い五条川のあるまち」と  |
|         | いう岩倉市の特色を活かし、マラソンと音楽をテーマとした2つの大々的な市民 |
|         | 参加型のチャリティフェスティバルを開催することによって、岩倉市への来訪  |
|         | 者を増やし、地域の活性化を図っていくことを目的としたプロジェクトです。  |
|         | ●このため、ゲストランナーとして東京オリンピックのメダリストを招致した  |
|         | 「五条川桜マラソン」と音楽やダンス等を披露する音楽イベントをチャリティ  |
|         | イベントとして開催し、寄付金を集めてユニセフ等に寄付して国際的にも貢献  |
|         | していこうというものです。                        |
| 未来新聞    | 2029年12月1日発行                         |

| チーム名    | チーム五条川                              |
|---------|-------------------------------------|
| チームの問い  | 五条川を利用した四季のイベントのPRは?                |
| 未来新聞名   | 岩倉 五条川 年中 桜 咲く                      |
| タイトル    | 「ミズベリング岩倉・五条川」設立!!                  |
| プロジェクトの | にぎわいのある川辺のまちづくり                     |
| 目的・概要   | ●岩倉のシンボルである五条川を、桜まつり以外にも年間を通じて華やかでに |
|         | ぎわいのある川辺としていくため、市民団体と市役所、協賛スポンサーが協働 |
|         | して様々なイベントを開催するプロジェクトです。             |
|         | ●このため、桜まつりはもとより、ウォーキングやマラソン、よくばりマルシ |
|         | ェ、川下り、カフェ、釣り大会、鍋フェスなど多様なイベントを官民連携、市 |
|         | 民参加で企画実施していこうというものです。               |



#### 5. その他のテーマのまちづくり活動提案

| チーム名    | いわくらメッセンジャー                                |
|---------|--------------------------------------------|
| チームの問い  | 20~30代3,000人にささる情報提供                       |
| 未来新聞名   | lwanavi通信                                  |
| タイトル    | 若者を中心に大流行!!! いわなび 一万ダウンロード突破!!             |
| プロジェクトの | 若者にささる広報プロジェクト「いわなび(Iwanavi)」              |
| 目的・概要   | ●市政に関心を持ち、市政に参加するような若者が少ない状況を打開するため、       |
|         | 市政情報等が若者に届き、心に響くような情報発信を行っていくプロジェクト        |
|         | です。                                        |
|         | ●このため、協賛を募ってクーポンを配信するような仕組みを組み込んだ、洗        |
|         | <b>練された使いやすく興味の引く情報提供アプリの開発し、おトクなクーポンを</b> |
|         | 呼び水にして、市政情報等を見ない、知ろうとしない若者に情報提供・情報発        |
|         | 信していこうというものです。                             |
|         |                                            |



| チーム名    | 渡部ひろちん                               |
|---------|--------------------------------------|
| チームの問い  | 日本語が話せないい中学生が、10年後、岩倉市に住み続ける割合を+10%に |
|         | するには?                                |
| 未来新聞名   | World Times                          |
| タイトル    | 外国人住みたい街ランキングNo.1!!                  |
| プロジェクトの | We Love Iwakura プロジェクト               |
| 目的・概要   | ●岩倉市に移り住んで育った外国籍の子どもたちや岩倉市で生まれ育った外国  |
|         | 籍の子どもたちが地域住民の一員(仲間)として岩倉市に住み続けられる、住  |
|         | み続けたいと思えるような、国際色豊かな地域、多文化共生社会、外国人が住  |
|         | みたいと思えるようなまちにしていくプロジェクトです。           |
|         | ●遊びも取り入れながら楽しく日本語を学ぶことができる「日本語教室」や「学 |
|         | 習支援」、親子でふれあい学べる「親子教室」などを市民団体やボランティア等 |
|         | で開催するような取組を展開していいこうというものです。          |



#### 4 まとめ

市民討議会の開催は、平成29年度に続き2回目となりました。

今回は、総合計画策定に関する市民討議会として開催し、市民意向調査の対象者として、層化無作為抽出した18歳以上の市民4,000人に対し、市民意向調査のアンケート調査票送付に併せて、参加案内を同封しました。

検討テーマが総合計画に関する幅広いテーマとすること、案内の送付対象者が前年の2倍となる4,000人であることなどから定員を60人としました。

83人の参加意思が表明され、抽選により参加の可否の決定をしましたが、参加意思表明(9月)から市民討議会の日程(2月)まで期間が長かったこともあり、多くの参加予定者から仕事の都合などにより事前にキャンセルの連絡がありました。

今後の開催に向けては、今回の状況を踏まえて、参加案内の送付日程と開催日程の関係を整理する必要があります。

参加者アンケートの結果では、前回に引き続き、市民討議会への評価を得られていることから、 過去2回の経験を活かし、今後も新たな市民参加の手法である市民討議会が適切なテーマ選定、運 営体制のもと継続して行うとともに、参加した市民の市政への参加が促進されるような工夫にし ながら継続して実施していく必要があります。



討議会で参加者が作成した「未来新聞」を岩倉市役所2回の市民ギャラリーに展示し、 討議会に参加していない市民の皆さんにもご覧いただきました。

(展示期間: 令和元年5月20日(月)~26日(日))